



当たり前のように使っている橋梁等の道路施設は、家や車が老朽化するように、老朽化します。これらがもし破損し、利用できなくなってしまうたら、私たちの日常生活はとても不便になり、社会的な損失も大きいものとなります。

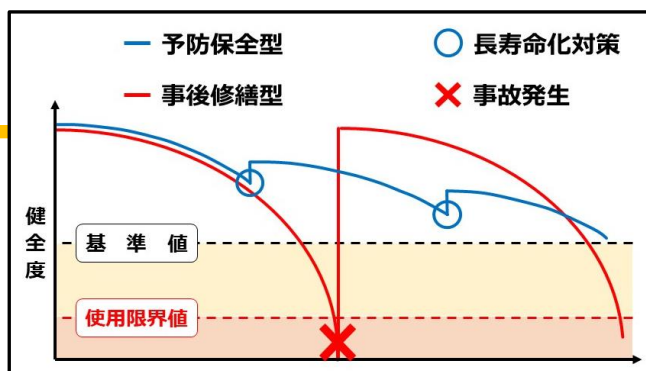
今回は、そのようなことが起こらないために、道路建設課が行っている取組みをご紹介します。

道路施設長寿命化修繕計画の作成

○道路施設長寿命化修繕計画とは…

「壊れた後の補修・架替え」等の**事後修繕型**の管理ではなく、「壊れる前に適切な補修をする」

計画的・効率的な**予防保全型**へと転換するため、その基本的な方針をまとめたもの。



○どんなメリットが…

壊れる前に適切な補修をすることで、トータルの維持管理費の縮減や道路施設の長寿命化を図ることが可能になり、**ライフサイクルコスト（LCC）の縮減**が期待できます。

○具体的に何をしているのか…

5年に1回の定期点検を実施して、道路施設の損傷状況を把握し、損傷の程度に基づき健全度を評価（判定）しています。

また、健全度等から優先順位を決めて、**計画的に補修・補強**を行っています。

橋梁点検の様子



市が管理している道路施設

- 橋梁 87 橋
- 横断歩道橋 8 橋
- 大型カルバート 1 橋

